

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

令和 6 年 / 月 / 日

三田市議会議長 森本政直 様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	盟政会	代 表 者	福田 秀章
		議 員 名	
派遣者氏名	福田秀章・今北義明・森本政直・幸田安司・小杉崇浩		
視 察 先	① 高知県室戸市 ② 香川県丸亀市		
調査事項 (調査目的)	① むろと廃校水族館について ② 丸亀市民交流活動センターマルタスについて		
日 時	令和 5 年 11 月 6 日 (月曜日) ~ 令和 5 年 11 月 8 日 (水曜日)		
視察先対応者	① むろと廃校水族館 若月元樹 (むろと廃校水族館 館長) 堺 宗大 (観光ジオパーク推進課 観光振興班 課長補佐) ② 丸亀市民交流活動センターマルタス 高島のどか (市民生活部生涯学習課) 谷本智子 (市民生活部生涯学習課 課長) 直江麻紀 (市民生活部生涯学習課 市民協働担当)		
添付資料	当日配布資料添付 当日写真		

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時

令和5年11月7日(火曜日) 10:30~12:00

視察先 むろと廃校水族館

調査事項 むろと廃校水族館について

(調査結果の概要)

【施設概要】

開館：平成30年4月26日

指定管理者：NPO法人日本ウミガメ協議会

施設設備：円形大型水槽3基、小型水槽16基、25mプール、小プール、展示室

総事業費：約5億5千万円

【説明と質疑】

資料に基づき説明(添付資料参照)をいただいた後、質疑を行った。

●説明

1 設置目的

室戸市の地域資源である海洋生物の飼育や漁業関連資料等を中心として展示・調査研究及び体験学習を通して自然環境への意識の高揚を図るとともに、観光客等の誘致及び交流人口の拡大を促進することにより、地域の活性化を図ることを目的としている。

2 開館までの経緯

①椎名小学校が児童の減少に平成18年3月31日に廃校(平成13年から休校)以降施設の活用なし。

②廃校舎活用のアイデアを市ホームページ等で募集。平成26年に日本ウミガメ協議会から博物館やミニ水族館に利用してはどうかとの提案があった。

3 施設の概要

室戸の海域で生息し、獲れる海洋生物の飼育・展示・研究を行う

飼育魚類・ウミガメ等への給餌、測定体験など、体験プログラムを提供

(その他、骨格標本づくり体験・ウミガメ放流体験・調査研究など)

●質疑

Q: 指定管理料はどの様になっているのか。

A: 指定管理料は市からもらっていない。入館料や館内の飼育魚の餌、グッズやお土産品でまかなっている。

委員の意見、元々は指定管理料がいくらかの議論からはいるのが普通であるのに、このような施設があることに驚いた。

Q: 室戸市で他に、廃校を活用しているところがあるのか。

A 廃校が10校ある、その中で、室戸世界ジオパークセンター、集落活動センターなどがあり、地域の活動拠点となっている。また、耐震化ができていない学校でないと活用化が難しい

Q: 日本ウミガメ協議会様はこの施設以外に、指定管理されているところがありますか。

A: 他に沖縄の八重山諸島に黒島研究所という施設があり、むろと廃校水族館のようなことと、研究施設で博物館のようなことをやっている(そこに研修生が沢山来る)繁忙期などは研修生が施設の手伝いもする。

【見学】

写真参照。

## 【所見】

むろと廃校水族館の入館料は安く設定されており、団体、高齢者、障害割を無くし、全ての人に対しての入館料を安価に設定されており、大人 600 円、小人 300 円乳幼児無料とし、観光客の誘致、交流人口の拡大を促進することを目標としている。

また年間の入館者数の目標を 3 万人から 4 万人を予想しておりましたが、目標を大きく上回り 16 万～17 万人の来場者となっており、四国でも有数の人気施設である。

館内ではこども向けのイベントも多数行われており、夏休み期間の観察学習にも効果的と思われます。

飼育生物は海獣や飼育困難種は取り扱わないことによりコストの削減や大量の餌による飼育を避けるための施設の運営で、誰にでも気軽に親しめる水族館と感じました。

特に、どこの小学校でも存在する細長い手洗い場が水槽となっており、小さな魚が沢山泳いでいるのが可愛らしくて、とても印象的でした。また外のプールには、漁師の網にかかった大小のウミガメが優雅に泳いでおりますが、冬場は水温が低いため、海に帰すそうです。そのようなことから、室戸の自然環境にも配慮した魅力ある施設と感じました。

調査日時	令和5年11月8日(水曜日) 13:00~14:30
視察先	丸亀市民交流活動センターマルタス
調査事項	丸亀市民交流活動センターマルタスについて
(調査結果の概要)	
<p><b>【施設概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館日：令和3年3月</li> <li>・構造：鉄骨造 地上2階建て</li> <li>・延床面積： 2691.9 m<sup>2</sup></li> <li>・運営： カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社</li> </ul> <p><b>【説明と質疑】</b></p> <p>資料に基づき説明(添付資料参照)をいただいた後、質疑を行った。</p> <p>Q：指定管理者制度の導入が決まったのは、開館準備支援業務委託が終わった後だと思うが、同じ業者が指定管理を受けているので、あらかじめ指定先が決まっていたように思われなかったか。</p> <p>A：開館準備業務を委託した段階では、直営も視野に入れていた。あくまで、開館準備業務は市民アンケート、ワークショップ等を行い、どういうゾーンで分けていくのか等の検討を行っていただいたもの。開館準備業務のプロポーザルには2者の応募があったが、指定管理の時には1者であった。そのような誤解は特になかったと思う。</p> <p>Q：指定管理料はどれくらいか。</p> <p>A：5年2カ月で約6億7千万円くらい。</p> <p>Q：建築費は。</p> <p>A：市役所との複合施設ではあるが、全体で約81億円、マルタス部分だけで13億円くらい。</p> <p>Q：図書館は直営か。将来的に図書館との連携する構想はあるか。</p> <p>A：図書館は直営。今のところ、そのような構想はない。</p> <p>Q：来られている人の交通手段は。</p> <p>A：ほとんどが車で来られている。駐車場の確保は課題。お城の前にあり、景観の問題で大きな立体駐車場の建設はできない。</p> <p>Q：人口減少が進むが、地域のチカラでにぎわいを維持する計画だが、人口を増やすことは難しいという判断か。</p> <p>A：人口を増やすことは限界があり、まちに関心のある人を増やしていきたい。</p> <p>Q：市民にとって、市民活動へのプレッシャーはないか。</p> <p>A：地域に17のコミュニティセンターがある。基本的には、そこを拠点に地域ごとにまちづくりの活動をしている。</p> <p>Q：市民活動向けの補助金の制度は？</p> <p>A：ステップアップ補助金という事業がある。これから活動を始めたいという団体や幅を広げて新しいことをしたい団体向け。1件当たりの上限は10万円。予算は15件分。</p> <p>Q：地域のコミュニティセンターの運営方法は。</p>	

A: 地域ごとのまちづくり協議会が指定管理を受けて運営していただいている。

Q: 行政の窓口（出張機能）はコミュニティセンターにはあるのか。

A: 行政機能は全くなく、地域の方だけで運営していただいている。合併前の役所があった地域にのみ、2カ所の市民総合センターがあり、そこでは行政窓口機能がある。

Q: 地域は人材不足になっていないか。

A: 自治会加入率は50%を切っている。地域の人材不足は大きな課題である。

Q: マルタスの貸し会議室は予約困難になっているのか。

A: 大きな部屋は予約可能初日に並んでいるような状況になっている。

#### 【見学】

写真参照。

#### 【所見】

丸亀市市民交流活動センターマルタスは、市役所に隣接しているという好立地で、スターバックスコーヒーが図書コーナーもあるオープンスペースに入っており、コーヒーを飲みながら本を読んだり、雑談したりでき、さらに充実したキッズスペースも設けており、親子でも使用しやすい環境を実現されていました。市民が集うために必要な機能を網羅しており、まさしく理想的な市民の交流・活動スペースとなっていると思いました。

人口がほぼ三田市と同じである丸亀市において、これだけ充実した施設を整備しているのは驚嘆に値します。今後の人口減少は避けられない中、市民の活動は人口が減った分を補うように増加させたいという意図があるとのことでしたが、ここまでしてでも市民活動を活性化させたいという強い思いが込められていると感じました。

また、このマルタス以外にも、コミュニティセンターを各小学校区単位（市内全部で17カ所）で設置しており、その運営は各地域のまちづくり協議会に指定管理で任せているとのことでした。市民参加を積極的に促し、地域のことは地域住民のチカラで解決していく仕組みが整っていることはとても素晴らしいと思いました。

三田市においても、今後のまちづくりを進めていくうえで、市民活動のさらなる活性化は重要な課題です。まちづくり協議会、区・自治会、各種地縁団体、テーマ型市民活動団体などの団体のそれぞれの特性を生かしながら、まちづくりに市民が参加しやすい仕組みを構築していく必要があると改めて感じました。

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、派遣者氏名は不要）